

V 日高振興局

1. 重点プロジェクト

【新病害虫や梅干し生産への特化のリスクに強い梅産地づくり】

～「露茜」の導入推進・生産安定技術の実証～

農業水産振興課では、「露茜」の導入推進・生産安定技術実証のため、みなべ町清川に主幹形栽培実証ほを設置して栽培講習会や結実安定のための人工授粉処理を実施している。

3月11日、清川出荷会露茜部会（部会長：桑畑和也氏）の役員5名とともに、実証ほ等3園地に人工授粉処理を実施した。今年は「南高」の開花が早くから始まり、「露茜」との開花期間にズレがみられたため、3月5日に「南高」の徒長枝先端部の蕾を採集し、開葯処理した粗花粉を用いた。

参加した役員からは、「今年の「露茜」は充実した良い花が咲き、人工授粉したことできっとたくさん結実するだろう」との声が上がっていた。



「露茜」の人工授粉処理

2. 印南町4Hクラブが清流小学校で卒業式用のフラワーアレンジメントを指導

印南町4Hクラブ（会長：村上弘樹氏）の会員5名は、印南町立清流小学校からの要請を受け、卒業式の前日となる3月22日、6年生（6名）にフラワーアレンジメントの指導を行った。

昨年11月に印南町立清流中学校で職業学習の一環として指導したフラワーアレンジメントが好評で、その評判を聞いた清流小学校から、「卒業式用のフラワーアレンジメントを指導してほしい」との依頼があり、実施に至った。花材には、スプレーカーネーションやスターチス、カスミソウなど、会員が栽培した色とりどりの花を用いた。

まず、会員がフラワーアレンジメントの基本を説明した後、児童らは思い思いの花を選び、友達と相談しながら和気あいあいとアレンジメントを楽しんだ。会員らは巡回しながらアドバイスをを行った。仕上がったアレンジメントは、花の選択やボリューム等、個性豊かな作品

が並び、それぞれ満足のいく仕上がりになり、児童らのうれしそうな顔が印象的であった。

卒業式当日は、これらのフラワーアレンジメントが会場を彩り、児童たちにとっても今回の体験は小学校生活のよい思い出となったことと思われる。

会員らにとっても、自ら栽培した花を用いて自分たちの活動を知ってもらえるよい機会となった。



フラワーアレンジメントに挑戦中



仕上がったフラワーアレンジメントを
並べて記念撮影

3. 日高地方生活研究グループ連協が「日高の味を楽しむレシピ」を発行

日高地方生活研究グループ連絡協議会（会長：後藤明子氏）は、日高地方の特産物を使った料理や郷土料理を消費者に知ってもらい、家庭で作ってほしいとの思いから、「日高の味交換会」や小学校の出前授業で紹介したレシピの中から12品を厳選し、リーフレット「日高の味を楽しむレシピ」として、1,000部を発行した。

リーフレットは、管内農水産物直売所において、消費者に配布するとともに、学校給食に活用してもらうため給食関係者にも配布した。

今後も農業水産振興課として当協議会の活動を支援していく。



作成された「レシピ」